

平成 28 年度第 2 回白井市立図書館協議会（概要）

1. 開催日時 平成 29 年 2 月 23 日（木）10：00～12：00
2. 開催場所 白井市立図書館 2 階 研修室 2
3. 出席者 委員 吉井会長、吉田副会長、渡辺委員、中澤委員、平塚委員、尾形委員、高花委員
事務局 黒澤館長、鎌田副主幹、内山主査
4. 傍聴者 無
5. 報告事項
 - (1)平成 28 年度主要事業中間報告及び利用状況について
 - (2)平成 28 年度資料購入状況について
 - (3)平成 28 年度祝日開館利用状況について
 - (4)平成 28 年度「白井市立図書館利用者アンケート」結果について
 - (5)図書館業務一部委託について
6. 協議事項
 - (1)平成 29 年度運営方針(案)について
 - (2)平成 29 年度主要事業計画(案)について
 - (3)平成 29 年度図書館費(案)について
 - (4)平成 29 年度資料購入計画(案)について
 - (5)夜間開館の現状について
7. その他
8. 配布資料 ①会議次第
②会議資料
③児童おすすめリスト 12・1・2 月
④文化センターだより 12・1・2 月号
9. 議 事 以下のとおり

会長	この協議会委員のメンバーでの会議は最後となった。我々は図書館応援団である。皆さんと内容の濃いご協議をしていきたい。皆さんよろしくお願ひします。
事務局	報告事項(1)から(5) までを報告する。
会長	(4) 利用者アンケートについて 「白井市立図書館利用者アンケート」問 5 項目別満足度の、「本の探しやすさ」7%の人が不満足となっている。探しやすさとはどういうことなのか、自分で探すのが難しいということなのか。
事務局	市の蔵書は、現在約 55 万冊あり、内訳は開架 10 万冊、センター図書室 8 万、書庫に 37 万冊が収容されている。閉架書庫の本が自由に見ることができないことかと推察するが、委員の皆様はどのように感じておられるか。

委員	<p>前回の会議でアンケートの目的をあげていただいた。年代によって満足する内容が違ってくる。今回のアンケート結果からは、運用改善に向けて、拾い出せるものはなかったもので、次回工夫が必要ではないか。質問にある「本の探しやすさ」は、インターネットのキーワード検索を使い慣れた人と使わない人では、結果が違い探せないと思うのではないか。書庫に入っているものを探すのは難しい。目でみて検討できないというストレスがあるのではないか。</p>
事務局	<p>武蔵野プレイスの前館長の講演会があった。武蔵野プレイスは図書館を中心に、まちづくりを推進するうえで連携が欠かせないセクションが集まった複合施設で、あらゆる世代の交流があることから新しいタイプの図書館として話題になっている。前館長は、図書館の書庫はもったいないので造らず、17万冊の所蔵はすべて開架にしたそうである。企画展示等で書庫の本を開架に出すようにしているが、今後も何らかの取組みが必要と考えている。</p>
委員	<p>書庫の資料を開架に出すことは、紛失などの兼ね合いもあると思う。</p>
事務局	<p>紛失は少なくなっており、今はほとんど開架に出している。</p>
会長	<p>資料検索をしていて新しく入った本の中に、出版年の古いものがあるが、どうしてか。</p>
事務局	<p>検索機の「新着案内」は、新しく受け入れした資料のリストである。新刊時には購入できなかったものを新たに受け入れする場合もある。</p>
委員	<p>アンケート調査について、「今のままでよい」という回答はある意味問題意識がない、ということなのではないか。不満があるということは、問題意識があるということになるので、具体的に書いていただくとよかったのではないか。評価するものの属性について、複合的なアンケートをとっておくと分析しやすい。後から使えるようにアンケートの設問について考えて欲しい。また、結果に取り組んだ成果を見せることも必要ではないか。</p>
会長	<p>市民に開かれた図書館だからこそ、アンケートの目的についても今後進化させていく必要があるのではないか。検討して欲しい。</p>
委員	<p>設問数が多いと選ぶのも大変であるし、それを具体化することも難しいのではないか。私は本が探しづらいとは感じていない。それができない利用者がある、ということだと思う。「気軽に訊ねて」「書庫にあ</p>

	ります」等ポスターなどで周知することも必要ではないか。
委員	利用者も多様化しており、どうして探しにくいのか、その理由を知ることが大事ではないか。カウンターで話しづらい質問なのかもしれない。図書館では「こんな案内をしていますよ」というものがあるとよいのではないか。
委員	レファレンスについて聞きたい。レファレンスの質問事項を入れて評価改善につなげていくのはどうか。司書は大人しい。やっている仕事をもっとアピールすべきである。
会長	宣伝ではなく何をしているかを表現していく工夫が必要ではないか。
事務局	協議事項(1)～(5)について説明
事務局	(1) 運営方針(案)について 市長と教育委員が構成員となる総合教育会議が行われるようになった。その会議に提出した資料は、第5次総合計画では、図書館は図書館サービス推進事業、図書館資料整備事業の2事業となっており、従来から行っている児童・青少年サービスなどのほか、市民により利用しやすい図書館をピーアールするため、レファレンスや課題解決支援に取り組む方針とした。
会長	(4) 資料購入計画(案)について 図書の入入れについてききたい。購入以外に寄贈も受付けているようだが、人気のある本もいただくことはあるか。
事務局	寄贈には人気のある新しい本も古い本もある。資料購入予算は減額しているため、ベストセラーの購入上限を5冊としている。所蔵が5冊以上あるものはすべて寄贈である。以前ご指摘のあった、旅行ガイドについて、発行年数を絞って購入している。
会長	毎年買わなくてもよいと思う。
委員	リサイクル資料について。随分古い資料がでている。書庫のスペースを考えてもう少し短いスパンでリサイクルに出せる様、規則改正を検討してどうか。
事務局	旅行ガイドブックの貸出は、以前と比べて利用が少なくなっていると感じている。スマートフォンの普及などによるものと考えられる。資

	料購入も除籍も市民のニーズや時代の変化に対応していきたい。
委員	雑誌購入予算の削減も仕方ないかもしれない。資料運搬業務の予算削減で、学校への運用も変わるのか。
事務局	資料運搬業務は、センター図書室の巡回を週3便から2便に変更する。学校への巡回は変更しない。小学校対象の読み物セットについては、学校に運用をお任せする。図書館では授業に使う資料について重点的に対応する。
会長	議員の質問とは、どのようなものだったのか。
事務局	井上新教育長が昨年10月から就任したことから、12月議会で教育方針の関連で3人の議員から質問があった。 福井議員から、「自由な図書館として、不登校児などの自由な居場所として図書館を位置付けできないか。」 植村議員から、「図書館司書が研修を行い、関係課と連携して、市民にとって垣根の低い起業支援に取り組んでもらいたい。」 和田議員からは、「資格、学位取得、通信教育支援、就職、起業等、市民にとって身近な図書館で図書などの資料の充実、相談業務の支援、充実を図り、いつからでもチャレンジできるよう支援体制に取り組んで欲しい。」との質問や要望が出された。
委員	議員から図書館に資料費をつけて欲しいとの応援はあるか。
事務局	これまで議員の図書館への関心は高く、減少している資料費や指定管理者など多くの質問が出されてきた。それは暮らしの中で身近な公共施設として市民の利用が最も多いことから、応援してくださっていると考えている。予算や職員は減少しているものの、創意工夫し市民の必要な資料やリクエストにも十分応えていけると考えている。また、図書館間の相互貸借システムもあり、白井に無い本は県立や他市図書館から借用し市民に提供している。
会長	新しい教育長もその方針なのだろうか。行政経営改革審議会からの指摘はないか。
事務局	「図書館は直営でいく」という教育委員会の方針は前教育長から引き継がれている。しかし、近い将来、白井市の人口減少と職員減員が始まる。今、行政経営有識者会議、行政経営改革審議会から行政経営指針、公共施設等総合管理計画がまとめられ具体的な実行計画が打ち出

	<p>されると思うので、安心はできない。図書館職員も市民や図書館協議会の皆さまに応援していただけるよう、運営努力をしていかなければならないと思っている。</p>
<p>会長</p>	<p>協議会は図書館の応援団である。</p>
<p>委員</p>	<p>生涯学習支援の有機的機関である図書館や団体にとって、図書館の役割や年度別に何をやるのかなどははっきりすると、我々も事業の検討など、できることがあるのではないかと。目標が大きくなっていく一方で、予算が減っている。無理なく運用していけるよう協議会で検討が必要ではないか。市全体の位置づけの共有ができれば、ボランティアを募るなど協力できると思う。図書館の利用者向けに、今年度の運営方針をポスターにして館内に掲示すると理解が得られるのではないかと。</p>
<p>委員</p>	<p>自分のしている仕事が、計画の中のどの位置にあるのか具体的に見える事がとても大切だと感じている。一人一人が何をやるかよくわかっており、全体計画の中の位置にいるか知ることが大事である。白井では、計画はあるがその具体的な位置づけが見えてこない。</p> <p>平成27年度文部科学省指定で、学校図書館活用教育を小学校、中学校で実施した。27種類の授業を行い、図書館の資料を使った。教育現場でのきっかけづくりになったと思う。この活動を継続することで、子どもの教育に活かして欲しい。私は、社会は変わっても子どもの本質は変わらないと思っている。そのことについて教員は感じて欲しい。</p>
<p>委員</p>	<p>計画だけではルーチンワークになってしまう。プロジェクトごとに新しい展開に取り組んで欲しい。</p>
<p>委員</p>	<p>学校では「わからない。そうだと図書館へ行こう」というテーマを掲げて活動している。</p>
<p>委員</p>	<p>利用状況が減っているが、学校や団体に支援しているということをごまかす必要はない。要望が大きくなって予算が少ない。難しいが、いごこちがよく、趣味の資料が充実している、そちらも引き続き努力してほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>図書館のPRは重要だ。民間に委託された図書館はPRが上手い。積極的にやっている。そのような攻めの姿勢が無いと利用者にはわからない。学校などへの物流をしている図書館は少ないので、ぜひPRしてほしい。</p>

委員	図書館は兼ねてからよく利用していたが、協議会の委員になって初めてこのような課題を持って運営していることを知った。広報することで、市民との交流の場になっていくのではないか。
委員	私も委員の活動をして図書館の運営がよくわかった。もっとアピールして欲しい。
委員	私も同感である。ブックスタート類似事業の「類似」という言葉は非常にさびしいものがある。親子おはなし会やおはなしかいなど、私たち子育て世代は白井の広報をよくチェックしている。小学生の娘が白井の自慢ベスト3に図書館を上げていてうれしかった。「季節毎に本の展示があります。行ってみてください。」と書いてあった。
会長	市の行政によって市民は育っていく。知の世界は大切だと感じる。市民参加団体の活動では、それぞれ思いを持って動いている。そのような場にも図書館から出向いて行って図書館の話をしたら、みんなが「知」を守る機運になるのではないか。
委員	若い層のイベントでも図書館を知ってもらうことが大切だと思う。文化マインドを育てていく。それが10年後に変わっていくのではないか。
会長	図書館の真摯な姿勢は市民に伝わっている。非常勤職員の方にも伝達して欲しい。
事務局	皆さんの意見をありがたく思っている。 (5)夜間開館について 利用者の固定化や利用数の減少などから、平成29年度に事業を見直す方向で市に諮る予定である。開館時間や曜日について、ご意見をいただきたい。
委員	午後7時までの開館はとても便利である。曜日を決めて開館時間を延長してはどうか。定着させるには、利用者への広報が必要だと思う。土日は午後5時でもよいのではないか。
委員	東京などで働いている人は、午後8時でも間に合わない。例えば予約資料に入れる短冊に、図書館開館時間のガイドを書くなどして案内をしていく必要がある。開館時間の周知は定着するまで実施することが大事である。全ての事業を今までのように継続していくのは難しい。状況を市民に知らせることにより理解されると思う。

会長	コストパフォーマンスを考えることは、必要だと思う。
事務局	夜間開館の曜日や時間の設定について、職員間でも意見は分かれている。利用について統計を取っているが、入館者数は、ほぼ横ばいであり、どの時間帯も差は無く、連絡車のある日は予約を受け取りに来館するため、若干多いのが現状である。
委員	非常勤職員も減員するのだから、曜日を決めて午後 7 時まで開館がよいのではないかと。
事務局	夜間開館の勤務は、職員 1 名と非常勤職員 3 名が時差出勤をし、午後 7 時までに行っている。冬は利用が少ないことなどから、2 月から試行として、平日 2 時間を 3 名で行っている。電話の問合せやトラブルを考えると不安があるのだが、今のところは順調である。
委員	週 1 回だけ開館するなら午後 6 時ではなく、午後 8 時とし昼間と同じような運営をするのはどうだろうか。
委員	利用者は社会人が多いのか、子どもはいないのか。
事務局	子どもは、夏休み中によく利用している。宿題を調べにくる子もいる。社会人は、予約資料を受け取りに来る人が多い。学生は、昼間から夜まで自習をしている。
委員	午後 7 時がよいのではないかとと思うが、冬は利用が少ないのであれば季節によって冬期間は午後 6 時、夏期間は午後 7 時と変更するのはどうか。
会長	事業見直し後実施する場合は、いつになるのか。
事務局	市の会議や市民の理解を得る必要がある。現在の時間を設定したときも長期間試行した。試行も必要かもしれないので、直ぐに開館時間が変更するということはない。
会長	今日は任期中で最後の会議で、みなさんに活発な意見を出していただいた。次の委員のメンバーに引継ぎたい。我々はこれからも図書館を応援していく。
事務局	たくさんのご意見、お褒めの言葉、応援をいただきありがとうございます。今後とも図書館運営にご協力をお願いいたします。本日は長時

	間ありがとうございました。
--	---------------